

神社庁総会



7月17日、熱田神宮会館において県内神職・総代288名が出席して恒例の神社庁総会が開催された。

熱田神宮御垣内参拝に続き、名古屋第2支部員の奉仕により物故神職慰霊祭が斎行された。続いて神職功労者として知西支部村田佳紀氏を始め6名が表彰された。

次いで本庁幣伝達が行われ、小串和夫庁長より、県内3地区を代表して名古屋瑞稜支部・春日部支部・碧海支部の3支部に本庁幣が手渡された。

次に総会に移り、神宮遥拝、国歌斉唱、敬神生活の綱領唱和の後、小串庁長より「昨年は神宮において遷御の儀がとり行われ、遷宮の諸行事は今年度末まで別宮の遷御が続くこととなる。終わりは次の始まりであり、今後の神宮奉賛活動において神社庁は本庁の施策に従い、都市部の対策を取り行う。皆様方のご協力を願いたい」と挨拶。続いて議事に移り、庁長を議長に議事が進行した。